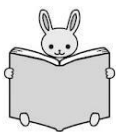


まんさくや 中也詩集の染み一つ (火村卓造)

立春が過ぎ、そろそろ雛飾りをする頃となりました。
“まんさく”は早春に咲くことから、「まず咲く」「まんずさく」が東北地方で訛ったものともいわれています。寒い冬を乗り越えたからこそ、きれいに花開くことと思います。日頃から、勉強に部活にと努力を積み重ねた皆さんも、春に素敵な花を咲かせてください。



12/16～2/5の利用状況

開館日数	27日
貸し出し冊数	256冊
{ 1年生	61
{ 2年生	123
{ 3年生	72
入館者数	944人
授業等利用	3回

スタンプラリー 当選者発表

今回は23枚の応募がありました。当選者の皆さん、おめでとうございます。今回はいつもほど応募が多くなかったため、当選者の確率が高かったようです。

次回は、ぜひ参加してください。

特賞 湊 和也さん(207)

宮崎 健太さん(208)

西野菜々美さん(301)

入賞 小俣 志織さん(105) 川崎美佐子さん(108)

脇谷内 廉さん(108) 水分 暢子さん(305)

栃折 華澄さん(307)



3年間、ありがとう!

早くも3年生の最終登校日となりました。

この金沢二水高校に入学してからの3年間(1月末)の総貸し出しは **3243冊**(1年次1466, 2年次1237, 3年次540)でした。この統計だけでなく、1年生の時から集団読書もありましたし、個人的にも本を読んでいることと思います。心身共に成長著しい高校時代にした読書が、将来何らかの支えになってくれることを願っています。**まだ、返却していない本は必ず返してくださいね!**

2月8日校長室で、読書感想文審査結果と合わせ、たくさん本を借りてくれた3年生への表彰式を行いました。文系理系に関わらず、読書から得た知識や感性は大きかったものと思います。これからも傍らに本を置いて、ますます育んでください。

～3年間の貸し出しベスト5～

1位	左 洋子さん(301H)	205冊
2位	西野菜々美さん(301H)	164冊
3位	中澤 英樹さん(307H)	140冊
4位	大竹 玲音さん(303H)	138冊



平成27年度 後期校内読書会報告

☆日時 12月24日(木) 13:00~

☆場所 図書館閲覧室 ☆参加人数 14人

☆テキスト&助言者

『号泣する準備はできていた』江國香織 (上出先生)

『最後の授業』 ランディ・パウシュ (山田先生)

- ☆感想
- ・楽しく本について話し合うことが出来た
 - ・最初はぎくしゃくとしたが、時間が経てばポツポツと自由に話し合えたので、とても楽しかった
 - ・複数人で話すことで、見解の違いや、作者の心情に近づけたと思う



☆参加できなかった人の感想(『最後の授業』を読んで)

この本を読んで、これからの人生の中で大切にしていかななくてはならないことや自分にこれまでなかった新しい視点を認識できた。

もし私がランディさんのように余命宣告後に誰かに話をする立場になったら、何も言えなくなると思った。自分の人生での経験を通して、学んだことや家族への愛を堂々と話せることは本当にすごいことだと思う。今の自分ではそんなことはできないけれど、興味を持って全力で挑戦していくようにすれば、できるようになる気がした。

自分がもし余命宣告後に誰かに向けて自分の人生について話すことになったら、自信と誇りを持って語る事ができる、そんな人生にしたい。(Y)

最後の授業を読んで一番心に残ったのは「壁がそこにあるのはそれを真剣に望んでいない人たちを止めるため」という言葉だ。

私はこれまで自分が何かをするのに手間取った時、少しは努力するけれど、結局諦めてしまうということを何度も繰り返してきた。この本を通して、その時私は「本気」で「真剣」に臨んでいなかったのだと感じ、どんな壁があっても乗り越えられるくらい強い信念を貫ける人になりたいと思った。

また、「自分にできると思っても、できないと思ってもそれは正しい」という言葉があったが、そういうふうに見えることがすごいと思った。大抵の人ができなかったことを振り返る時、正しい選択ではなかった、というように考えると思う。自分の死を受け入れ、最期の死の瞬間まで成長し続けようとしたランディさんだからこそ、このように自分を正しいと信じきってつき進むことができたのだと思う。自分を信じる事が夢へつながる道なのだという事も分かった。(T)

石川県初！ 芥川賞受賞！ 祝 本谷有希子さん

第154回芥川賞に白山市出身の本谷有希子さんの『異類婚姻譚』が選ばれました。芥川賞では、06, 09, 11年に候補になって4回目で受賞。『ぬるい毒』で野間文芸新人賞、『嵐のピクニック』で大江健三郎賞、『自分を好きになる方法』で三島由紀夫賞を受けています。

図書館横廊下に記事の展示をしました。

『江利子と絶対』『ぜつぼう』『偏路』『生きてるだけで、愛。』

『臍抜けども、悲しみの愛を見せろ』も蔵書としてあります。来てね！



図書委員のオススメ

『人間椅子』

江戸川乱歩

今回紹介するのは、江戸川乱歩の短編集です。乱歩は超自然的な怪奇を題材に、現代の小説にはない独特な世界観を持った作品を描いています。

本書は、「人間椅子」をはじめ、一風変わった物語を収録しており、少し刺激のほしい人にお勧めしたい一冊です。(T)